

『風と光と』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

福祉健康系列代表

『高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすために』

教養系列代表

『実は数学者！？&意外と多い！？』

総合ビジネス系列代表

『総合ビジネス系列の取り組み』

建築デザイン系列代表

『オペラハウスの製作』

機械テクノロジー系列代表

『チャレンジ2020』

電気情報系列代表

『アルティメットマイコン・3Dプリンターの活用』

1年次代表

ライフデザイン1. 0(自分の価値観と1年後の自分)、職業辞典(職業について)

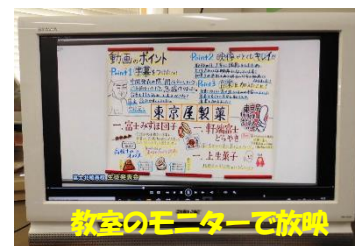
2年次代表

地域研究(富士吉田と沖縄を比較して)
地域研究(富士吉田と沖縄を比較して)

富士北稜高校 生徒発表会

富士北稜高等学校(羽田孝行校長)では、毎年開催している「生徒発表会」を新型コロナウイルス感染予防の観点から、今年是一般公開をせず、生徒の取り組みを事前収録したものを校内で視聴する形で2月13日(土)に実施しました。収録にはCATV 富士五湖とケーブルテレビ河口湖の協力をいただき、放映もしました。

富士北稜高校では、3年次の系列ごとの取り組みや1・2年次の「総合的な探究の時間」において、主体的学びを重視しています。自ら課題を決め、他者との対話や解決への過程を大切にしながら探究活動を行い、その成果を発表することで発表力を養い、また、他者の発表を聞くことで傾聴力を身に付けることが目的です。地域の企業や大学、団体の協力を得て、地域に根ざした生徒の育成を図っています。



シオジ森の学校 15周年記念シンポジウム (案内)

開催日時：令和3年4月18日(日)

13:00~15:00(開場12:45)

会場：大月市民会館 3階 講堂

登壇者

- ・小松澤 靖：県森林環境部県有林課 課長補佐
- ・長池 卓男：県森林総合研究所 主幹研究員
- ・永田 恵：日本山岳遺産基金 事務局員
- ・萩原 康夫：昭和大学教養部 准教授
- (司会) 天野 文義：シオジ森の学校

2006年創立のシオジ森の学校が、15周年を迎えました。「小金沢シオジの森」をメインフィールドとして、「森で遊び、森に学び、森を育てよう」を掲げて、キャンプやトレッキング、動植物の観察会、林業体験などの森の恵みを楽しんできました。コロナ禍においても、できる範囲で様々な活動を行ってきました。

しかし今、10年ほど前からの「ササ枯れ」が山の生態系に影響を与え、天然林であるシオジの森の存続の危機が迫ってきています。自然の摂理に従うか、貴重な自然の保全をするか、今回のシンポジウムで様々な観点から討論していきます。



富士河口湖高校 KIP 発表会 (2年次)

富士河口湖高等学校(小川弘一校長)ではKIP(KAWAKO INSIGHT PROGRAM)として「総合的な探究の時間」の取り組みを行っています。自分が生まれ育ち、生活している地域の課題について主体的・協動的な探究活動をとおして理解を深め、将来の地域リーダー人材の育成を目標として、3年間をかけて自分の進路に繋

がるように活動を行っています。1年次「知る」、2年次「考える」、3年次「発信する」とテーマを持った継続的なプログラムとなっています。

10月21日(水)には、2年次が新型コロナ対策を徹底する中で、テーマごとに分散して各グループの発表を行いました。「環境・地域問題」「国際交流・産業(観光)」「文化(祭り)」「医療・福祉」の4テーマについて、興味・関心が同じ生徒で1年次の時から編成されたグループで、SDGsに関連させながらスマートフォン等を活用し、エビデンス(根拠)を持った調べ学習を行いました。



今後はこれまでの活動を基に、各々の進路と関わらせた個人での探究の段階に進んでいきます。河高生には「この地域や自分の将来について、高校生として何をしていたかなければならないのか(どう動くのか)」を提案・発信し、近未来のリーダーとして行動して欲しいものです。



5・6・7に負けるな!

ニコニコかかし食堂・教室

NPO 法人富士と湖とかかしの里



「かかしのある景観づくり等を通じた魅力あるふるさとづくりと共に、いきいきサロンの運営を通じた地域住民の交流や社会参加の推進を図り、助け合いの精神でともに手を取り合い生き生きと生活する地域コミュニティの創造(高齢者のつながりと生きがいづくり)」を目的に2014年3月に、「NPO 法人富士と湖とかかしの里」は設立されました。

「かかし食堂」は、地元の個人や企業の寄付と会員らが持ち寄る自家製野菜で温かい家庭料理を提供する“子ども食堂”で、子どもから高齢者までが食事を通して交流をしています。2017年12月に開店しました。「かかし教室」は、「かかし食堂」と同日に開催し、近隣の健康科学大・昭和大・富士吉田市立看護専門学校の学生さんや会員らが、学習支援を行っています(現在はコロナの影響で学生は不参加)。

昨年4月に現在の場所に移転し、現在はお弁当の販売を行っています。1月17日(日)に取材したところ、ボランティアのお年寄りが、4種の魚弁当(90食)を調理し、訪れる親子たちと交流をしていました。八須一陽理事長は、「子どもたちに働くこと(生きる力)を覚えてもらいたい」、また「フードパントリーの活動の中で、大学生の支援も考えている」と今後の意欲を語っていました。多くの方々のご協力をいただき、子どもたちのために今できることを行っています。



【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHPからご覧いただけます。】

URL : <https://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/jouhoushibackn.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めてまいります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。 ※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ TEL : 0554-45-7841

吉田高校 富士山学(分野別発表会)

吉田高等学校(古屋勇人校長)では、現2年生の入学時に教育課程を変更し、「総合探究」を先行的

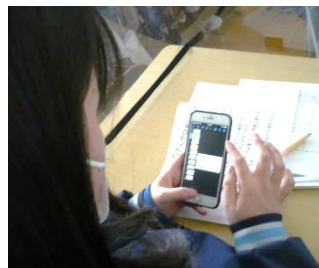


に実施しました。1年次から富士北麓地域の文化・産業・自然科学などの分野で、地域が抱える課題を探究する「富士山学」に取り組んでいます。

1月13・20日には、分野別発表会が行われました。生徒たちが地域の人に話を聞き、その中で各自が課題を発見し、解決策を探る過程で、「学ぶ」意義を意識する者もできています。発表では、PCや携帯電話などのツールを駆使して、論理性とデータに基づく、わかりやすい発表を心掛けていました。

2月10日の全体発表会では各分野の代表が発表し、情報の共有化を図りました。

2月10日学年全体発表会 代表テーマ例
 街づくり: 地域を活性化させるには
 歴史文化: 富士講の歴史を後世に伝えるには
 自然環境: 地球温暖化が富士山に与える影響は
 産業: 新しい視点から富士吉田市をアピールするには
 防災: 防災意識を高めるには
 健康: ヘルスポモーションを向上させるには



高校を知ろう!

高校の特色のある文化部紹介

キャリア研究



富士河口湖高校の 文化部紹介

(吹奏楽部・写真部・放送部・美術部・茶道部・文芸部・英会話部)

富士河口湖高等学校(小川弘一校長)には、現在**7つの文化部**があります。今年は、コロナの影響で、活動が制限されたり大会が開催されなかったりしていますが、河高らしく「マイペース」に「できることをする」の精神でそれぞれ活動を続けています。しかし、実際はどんなことをしているのかは、なかなか知られていないものです。



放送部



英会話部

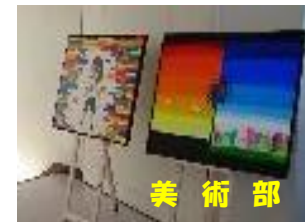
吹奏楽部は、「河口湖ステラシアター」という換気環境抜群の会場で、縮小した形ではありましたが、7月に定期演奏会を開催しました。中学校でも吹奏楽部はあるところが多いので、活動内容は想像しやすいですね。**写真部**は、文字通り写真を撮るのですが、撮影したままの写真だけでなくデジタル加工などを行うこともあり、ファインダーから見える世界に無限の可能性を探りながら活動をしています。**放送部**は、「発声練習」のイメージが強いようですが、実際には取材や編集など、探究活動的な部分と技術屋さんのような面の方が大きい活動です。河高放送部は全国大会出場経験も多いです。**美術部**は、生徒が自分のペースで、自由に創作に取り組んでいます。創作活動として、絵画から立体まで、守備範囲が広いのが美術部です。**茶道部**は男女問わずに参加しています。お茶を飲むだけでなく、茶道とその作法を通して日本文化を体感し体現する活動です。部活動を通して、客人をもてなす心を表現することが学べます。**文芸部**は、文芸作品の創作のみならず、その時々部員構成によって「かるた」に挑戦したり、挿絵などのイラストを極めようとしていたり、多面的に自由な活動を展開しています。**英会話部**は、ALT とともにゲームやフィールドワークなどの活動を通して、授業とは違う視点で世界共通語ともいえる英語に親しんでいます。運動部と兼部する生徒もいます。



吹奏楽部



茶道部



美術部



文芸部



写真部

河高は「文武一体」を掲げているので新入生は**運動部**に目が行きがちですが、**文化部**もしっかり活動していて、各種大会で上位入賞・全国大会出場など実績も積んでいます。文化部で自由な発想のもと自分らしさを追求してみるのも、自立した将来への道標になると思います。3月に文化部発表会(富士吉田市民会館)が予定されています。ぜひ足を運んで、実際の活動の一端に触れてください。



富士北稜高校

電子情報技術部



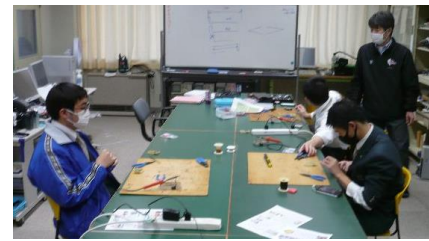
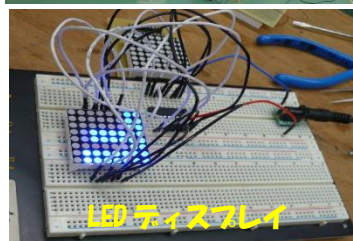
神奈川県工科大学マイコンデザインコンテスト出品作品
「電子制御で点灯する校章」

富士北稜高等学校（羽田孝行校長）の電子情報技術部は、総合学科としてのメリットを活かし、電気情報系列を指導する楠秀樹教諭が顧問を務めています。現在の部員の半分は、教養や福祉系列の生徒で、入部時点ではプログラムの経験は皆無でしたが、3年間で回路図やハンダづけ、C言語やjavaを用いて作品を製作できるようになるそうです。



部活動の二大イベントは、神奈川県工科大学のコンテストに出品することと、1月に「河口湖SCベル」で行われる富士北稜高校の文化部フェスティバルへの展示になります。また、夏休みに小学生を対象にした「親子カルチャー教室」ではミニ先生を務め、ものづくりの面白さを伝えています。

ただ今、新入部員募集中です。初心者でもプログラムができるようになりますから、是非一度見学にきてください。



日本大学明誠高校 ダンス・チア部

日大明誠高等学校（土屋明彦校長）のダンス・チア部は、今年度創部8年を迎えました。部のテーマは「一生もの」です。部員は3学年合わせて79名いますが、8割は入学時ダンス未経験者です。それでも昨年度は全国大会で3位入賞をし、今年度は全国大会5位という結果を残すことができました。また今年度はダンスの動画を送り審査していただくオンラインでのコンテストも多く行われましたが、そこでもグランプリや関東1位になっています。



私たちの部の特徴は生徒たちが主体的に活動をしていることにあります。部長を中心とし副部長が3名いるのですが、その副部長はそれぞれ「ダンス部門」「広報部門」「企画部門」のリーダーとなっており、各部門にもそれぞれ学年をまたいで複数部員が所属しています。練習のメニューや作品のことを考える「ダンス部門」、SNSを運営し部を発信する「広報部門」、部内外のイベントの企画運営を行う「企画部門」が、それぞれ自分たちの役割の中でより充実した活動ができるように工夫をしています。部の雰囲気はとても明るく、和気あいあいと活動をしているので、日本テレビを



はじめ取材をしていただいた複数のメディアの方々にも「強豪校っぽくない」と言われたりもします。私たちにとっては誉め言葉だと思っています。

これからも部活動の「楽しさ」は忘れずに日本一を目指します！



「明日の風」 第4回 アスリート実技講習会



「明日の風」アスリートクラブ・北都留地域教育推進連絡協議会主催「明日の風 アスリート実技講習会」が、12月28日（第4回：大月市営陸上競技場）に開催され、多くの小・中学生、指導者が参加しました。

第4回では、全員で身体と心をほぐした後、ハードル、短距離、長距離、幅跳び、高跳び、ジャベボールの各種目に分かれて基本的な練習方法を学びました。2つの競技を体験した子どもたちは、競技による特性の違いを感じていました。最後に交流リレーを行い、身体を動かす喜びをみんなで分かち合いました。

第5回は、2月20日（土）に大月勤労センター体育館で行われました。

今年度最後の「第6回アスリート実技講習会」は、3月6日（土）に大月市営陸上競技場で行います。



高校を知ろう！

高校にある学生食堂

家庭の強い味方

富士・東部地域で学生食堂が存続している高校は、都留高校だけです。今回は、学生たちの胃袋を支える「都留高校の学食」を紹介します。

都留高校学食（通称：こたか食堂）



小高夫妻

旧制中学校の流れを汲む県立都留高等学校（渡邊信介校長）には、古くから「学生食堂」がありました。一時期休止していた食堂を、平成4年に復活させたのが、現在も営業を続けている小高秀之さん夫婦です。

小高さんは都留高校の隣で先代が食堂を営業していたことから、17歳の頃より調理に携わり、自衛隊の補給班で腕を磨き、いくつかの店で修業をした上で、「都留高校の学食」を始めました。ちなみに小高さんは、防衛省・自衛隊募集相談員、東部地区募集相談員連絡会の監事、大月市スポーツ協会理事長という顔も持っています。

最近、コンビニの利用や弁当を持参する学生が増加して、多くの高校で学食が廃止（吉田高、河口湖高他）されていますが、都留高校の学食は学生だけでなく、卒業生や教職員・近所の方々にも愛されて、今日も営業しています。月曜日～土曜日まで、定番メニューと日替わりメニューがあり、土曜日は学習会や部活動参加の学生のためにスペシャルメニュー（例：辛うまラーメン）も用意しています。左に学生に人気のメニューを紹介します。



人気1位

からあげ丼



人気2位

チャーシュー



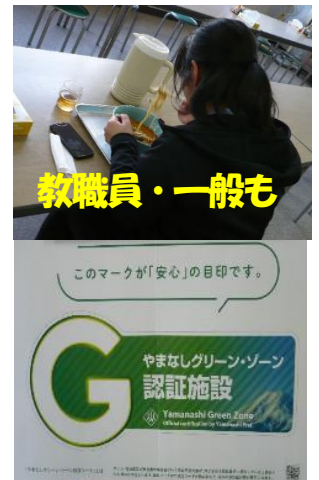
人気3位

卵汁そば ミラーン



OB推奨

ミソタンメン+α



教職員・一般も

このマークが「安心」の目印です。



高校生の昼食時間（12:26～13:06）を外せば、一般の方の利用が可能です。今年、「やまなしグリーン・ゾーン認証」を取得しました。

都留興讓館高校 教育実践発表会

都留興讓館高等学校(高野修校長)では、1月19～22日にかけて校内で「工業4科の課題研究発表会(教育実践発表会)」を開催し、工業科の3年生が専門課程で学んできた内容をもとに、今年度取り組んできた課題研究の成果を発表しました。

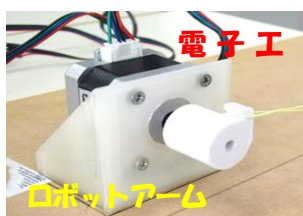
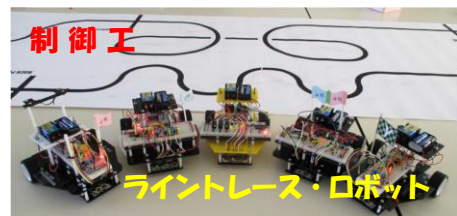
取材日は、環境工学科(環境分析、材料工学、測量、土木施工等:大きく建設系と化学系が学べる)の生徒たちが、4班に分かれて実践してきた内容を模型や動画、製作物などを持参し、パワーポイントを用いて校内の視聴覚室で発表しました。



特に化学系の発表では、コロナ対策として世の中で不足していた消毒用アルコールの生成に挑戦しました。化学的な知識を基に飲料用アルコール(ウイスキー、ウォッカ、ジン、ワイン、日本酒など)から消毒用濃度に蒸留しました。利用可能な濃度と分量を生成するためには、様々な課題があることも知ることができました。

他の工業3学科でもこれまで学んできた知識を応用し、専門的な課題にチームで取り組み、試行錯誤を通してものづくりの奥深さを

体験し、今後の進路に活かすきっかけとなりました。また、2年生の英語理科でも、科学・数学的なものの見方や考え方をベースに課題を設定して、生徒が主体的に活動をしています。



南北都留教育相談ネットワーク会議



12月2日(水)に南北都留教育相談ネットワーク会議(会長:角田広美都留児童相談所所長)の第2回が南都留合同庁舎にて開催されました。本会議は、「青年の育成にかかわる、教師やカウンセラー、児童相談所・教育相談所の職員等が、それぞれの経験や専門性を生かしながら情報や技術を共有し合い、連携して学習会や相談活動・情報提供・研究活動を行い、公正中立な立場でのより効果的な地域の青少年支援」を目指しています。

今回の会議では、ふじざくら支援学校と富士・東部教育事務所スクールソーシャルワーカーからの実践発表をもとに、研究協議が行われました。コロナの影響による来校制限を行う中での支援活動の実態や休校による不登校、登校しぶりなど、4月当初の対面による関係作りが難しかったことによる弊害が報告されました。

2月3日(水)に予定されていた第3回会議は、新型コロナウイルス感染症の富士・東部地域での感染拡大のため、直前で書面による開催となりました。この中で、富士・東部保健福祉事務所と大月市教育支援センターからの提案がありました。

それぞれの立場での関わり方や抱えている課題の解決に向けた意見交換や情報交換が行われ、各機関のネットワークの必要性を再認識する有意義な会議となりました。今後は、ZOOM等でのリモート会議の必要性も実感しました。



4月開園

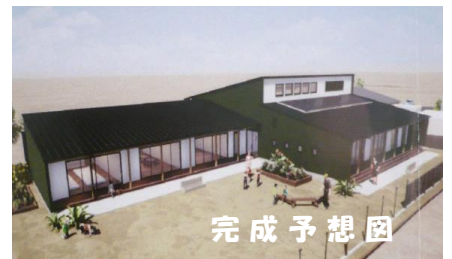
認可保育所 令和にこここ園



大月市猿橋駅前に令和3年4月、認可保育所「令和にこここ園（鈴木龍子理事長）」（社会福祉法人 多幸福社会）が開園します。

木の温もりに包まれた園舎は、「にこここほーる」を中心に、各部屋の前にはテラスと園庭が広がっています。0～2歳児室には、太陽熱を利用したOMソーラーを備えて、快適な環境を整えています。

こどもの言葉や行動をありのまま受け取る（認める）ことで、こどもと信頼関係を築き、その思いに寄り添い待つ（見守る）ことで、こどもは満足して次の意欲を掻き立てる。そして子供の心や行動が動く瞬間をとらえた（見つける）時に少しでも手助けをする。また、地域のみならず子育てをしていくことで地域共生社会（つながる・支える・育てあう）を実現する。こうした理念のもと運営をしていきます。詳しくは0554-22-2525にお尋ねください。



都留高校 課題研究成果発表会（分野別発表）

都留高等学校（渡邊信介校長）は、今年創立120年を迎え、「質実剛健・自学進取」の校訓の下、自主性、主体性を重視した教育を推進しています。

2015年から、フィールドワーク・実験・観察・インタビューなど体験活動を軸とした独自の課題研究プログラム「都留高探究プロジェクト（つる探）」を実施しています。SSH（～H26）の実績や長年培ってきた伝統と大学・研究機関・地域団体との連携の中で、「主体的に考え行動する力、コミュニケーション力、情報発信力、多少の失敗には動じない力、様々なことに挑戦しようとする力、思考力」を、1・2年生全員が各自の設定したテーマについて「総合的な探究の時間」を中心に取り組みます。



過去には、富士急行「上大月駅」を「都留高校前」への変更を提案し、副名として認められました。今年3月には「都留高校前」駅の駅舎や周辺の整備がされます。また、探究内容（子ども食堂普及県内でも支援を）を新聞に投稿し、県の行政担当者からの反応もありました。それ以外でも研究成果を出前授業として近隣の小学校や保育園で披露もしています。今年も「大月空襲」を研究し、「遺髪塚法要の日（8月13日）」に展示・発表を行いました。「つる探」での活動は、校内にとどまらず、地域の活性化につながるものとなっています。

今年度は、3月17日（水）に「都留高探究プロジェクト成果全体発表会」が予定されていますが、取材に訪れた2月12日（金）は、1・2年が各会場に分かれて発表を行いました。「社会」「地域」「英語」「伝統」「文学・文化」「教育」「生活」「医療」「数理」の分野で、パワーポイントでの発表とともに「ポスター」の作成を行います。生徒たちは、自己の課題の研究成果をまとめ・発表することで自照でき、プレゼンテーション能力の涵養にも繋がっています。



令和3年度の地推協主要事業の予定

北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）および南都留地域教育推進連絡協議会の令和3年度主要行事予定は次のとおりです。詳細については、改めてお知らせします。

○北都留地域教育推進連絡協議会（地域教育「明日の風」）定期総会・教育講演会
令和3年7月 2日（金） 受付：午後1時 会場：上野原文化ホール（もみじホール）

○北都留地域教育推進連絡協議会 アスリート実技講習会

第1回 令和3年 5月 8日（土） 受付：午前8時30分 会場：大月市営陸上競技場

第2回 令和3年 6月20日（日） 受付：午前8時30分 会場：大月市民総合体育館

第3回 令和3年 9月25日（土） 受付：午前8時30分 会場：大月市営陸上競技場

調整中【令和3年10月16日（土） 受付：午前8時30分 会場：大月市営陸上競技場】

第4回 令和3年11月 6日（土） 受付：午前8時30分 会場：大月市営陸上競技場

第5回 令和4年 2月19日（土） 受付：午前8時30分 会場：大月市勤労体育センター

第6回 令和4年 3月 5日（土） 受付：午前8時30分 会場：大月市営陸上競技場

○北都留地域教育推進連絡協議会 小林雅英野球教室

令和3年11月27日（土） 受付：午前7時30分 会場：都留高等学校

○北都留地域教育推進連絡協議会（共催） 伊藤知治教士八段剣道教室

令和3年10月23日（土） 受付：午前12時 会場：大月市立大月短期大学

○チャレンジ！上高アニメーション（共催）

令和3年8月 3日（火） 会場：上野原高等学校

○北都留地域教育推進連絡協議会（協力事業） シオジ森の学校

令和3年4月17日（土） AM：総会、PM：オープンキャンパス

18日（日） AM：講座、PM：シンポジウム 開場12時45分 会場：大月市民会館

○南都留地域教育推進連絡協議会 理事会・総会・教育講演会

令和3年 6月16日（水） 理事会 開始：午後1時15分

総会 開始：午後2時 会場：勝山ふれあいセンター

○第24回南都留地域教育フォーラム

令和3年10月29日（金） 開始：午後1時30分 会場：下吉田第二小学校（主会場）

○都留地区生徒の健全育成を目指す中・高連携連絡会議

第1回 5月～6月予定 第2回 11～12月予定（後日日程調整）

○富士北稜高等学校「親子カルチャー教室」（共催）

令和3年7月24日（土） 会場：富士北稜高等学校

○都留興譲館高等学校「親子ものづくり教室」（共催）

令和3年8月 9日（月） 会場：都留興譲館高等学校

《社会教育関連事業》

○フロンティア・アドベンチャー「やまなし少年海洋道中」

令和3年8月 1日（日）～ 8日（日）

○南都留地区ジュニアリーダー合同キャンプ

令和3年8月 3日（火）・4日（水） 会場：国立中央青少年交流の家

○山梨ことぶき勸学院 第34期生（新2年生） 第35期生（新1年生）

令和3年4月13日（火） 入学式・始業式 県民文化ホール

南北都留の高等学校・支援学校の貴重な実践が満載の「実践報告集 第20集」を発刊しました。
御興味のある方は富士・東部教育事務所までお問い合わせください。